

事務事業評価表(既存事業)

コード 9-2-2	事務事業名 鉛製給水管解消事業	所管部課 水道部工務課					
事務事業の概要	事務事業の目的 鉛製給水管は、漏水防止及び水質改善の観点から、都水道局でステンレス管への取替を推進している。	総合計画上の位置づけ (政策)安全で快適に暮らすまちづくり (施策)上下水道の運営(案1-3) (主要施策)上水道の安定供給					
	実施内容、実施方法 道路内及びメーター周囲の鉛管について、ステンレス管への布設替工事を業者に委託して実施する。	根拠法令等 水道法、水道法施行規則、水質基準					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 鉛管交換栓数	活動指標の考え方(定義) 当該年度に鉛管からステンレス管に交換した栓数					
	成果指標名 鉛管解消率	成果指標の考え方(定義) 累積交換栓数 / 交換が必要な給水管の総栓数(1,255栓)(%)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		41,558	40,402	20,171	0	
	国庫支出金						
	都支出金	千円	41,558	40,402	20,171		
	地方債						
	その他						
	一般財源						
	所要人員(B)	人	1	1	1		
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	8,246	8,273	8,328	0	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	49,804	48,675	28,499	0	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(給水管交換栓数)	千円	88.30	121.99	121.27		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	栓			292	57
		実績値	栓	564	399	235	
活動指標	目標値						
	実績値						
成果指標	目標値	%			100	100	
	実績値	%	44.9	76.7	95.4		
成果指標	目標値						
	実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)						
	国・都・他市・民間等 における類似事業		鉛製給水管を使用している市においては、同様の工事を行っている。				
	運営上の制約条件・ 外部要因等		道路内及びメーター周囲については、行政側の負担で取替えるが、メーターから宅内については個人負担となる。				

コード 9-2-2	事務事業名 鉛製給水管解消事業	所管部課 水道部工務課
--------------	--------------------	----------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	概ね計画どおりに工事を実施している。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	鉛製給水管は、漏水防止及び水質改善の観点から、ステンレス管への取替を推進する必要がある。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	100%の材質改善をめざして事業を行っているが、一部市民の理解が得られていない。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	宅内については個人負担となるため、理解を得られない場合がある。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止	鉛管解消事業としては終了する。 本管工事の実施に伴って新たに確認された鉛管については、随時交換を行う。

17年度における改善点	未改善はあるが17年度は鉛管解消事業としては、予算計上はしていない。
-------------	------------------------------------

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績： 十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性： 国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性： 限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性： サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価： 各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充： ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施： 現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し： 現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し： 事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止： 事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。